

のめまーじろ 篠竹通信

長野県篠ノ井高等学校発行
令和5（2023）年晩秋号

創立100周年記念式典が行われました



11月11日(土)、創立100周年記念式典が行われました。篠ノ井高校は、大正12年長野県更級高等女学校として開校しました。大正14年には長野県篠ノ井高等女学校と改称され、昭和23年に現在の校名になりました。また、昭和24年には定時制課程が設置され、昭和49年、男女共学となりました。31,000人以上の卒業生は、地域だけでなく世界で活躍しています。



式に先立ってギター・マンドリン部の演奏が披露されました。式典は、国歌・校歌斉唱から始まり、実行委員長・学校長式辞、県教育長をはじめ来賓の方々から祝辞をいただきました。また、同窓会長より100周年の記念品として、「生徒用の机・椅子760セット」「海外研修費支援基金」が贈呈され、最後は生徒会長の挨拶で式が閉じました。100周年にふさわしい式典でした。

100周年記念イベント ～新田恵海さんをお迎えして～



式典終了後の記念イベントは、本校卒業生で現在声優・女優として活躍している新田恵海さんと本校生徒とのトークセッションが行われました。新田さんの高校時代の思い出や、この職業に就いたきっかけなどお話しいただき、生徒からの質問にも答えていただきました。最後は新田さんの曲『Bon Voyage!』を歌っていただきました。

1 学年 行事の日

10月5日、6日の2日間、1 学年では学年行事日でした。5日午前中は、修学旅行の事前学習を、午後は進路についての講和を聞きました。また、6日は、大学見学が行われました。

10月5日



須坂市在住の碓井 智以子さんにご来校いただき、平和学習を行いました。碓井さんは78年前、終戦の2日前「長野空襲」を経験されました。当時、小学校1年生だったそうです。そのときの体験を紙芝居にして紹介していただきました。篠ノ井高校周辺にも、不発であったけれど爆弾が投下されたそうです。

引き続き、来年の修学旅行の事前学習を行いました。来年度の修学旅行は長崎・関西方面を予定しています。長崎市東京事務所観光コンベンションの山田 紀彦さんにご来校いただき、長崎の地理・歴史・食文化・観光などについてプレゼンしていただきました。最後にクイズを行い、正解者にはプレゼントもありました。



午後は、マイナビの清水 虹輝さんをお招きして、文理選択の講演会が行われました。人生100年時代の今、自分の進路をどう考えていくべきか、失敗談なども交え、「いろいろなことを知れば知るほど将来の可能性が広がること、AIにはできない主体的に動ける力を身につけていくことが大切」とのお話が印象的でした。

10月6日



6日は、6つのグループに分かれて、近隣の大学見学を行いました。見学先は、新潟県では三条市立大、上越教育大、新潟県立大、長岡科学技術大に、群馬県では群馬大、高崎経済大、富山県では富山大、富山県立大、山梨県では都留文科大、山梨大、埼玉県では獨協大、埼玉県立大です。見学後の生徒は「広い視野で進路をとらえられるようになったと思う」と。高校との違いを肌で感じる事ができたようでした。

トイレが新しくなりました

8月より北校舎のトイレの改修工事が始まりました。10月には4階、3階は11月より利用できるようになりました。1～2階は12月に使用できるようになります。これまでの暗かったトイレが明るく清潔なトイレになりました。



「なりたい自分」がきっとある！

皆さんの夢と可能性を見つけよう！